

|      |             |    |    |     |            |
|------|-------------|----|----|-----|------------|
| 科目名  | 弦楽合奏 I～VIII | 形態 | 実習 | 開講期 | 春・秋        |
| 担当教員 | 後藤 龍伸       | 単位 | 1  | 年次  | 1, 2, 3, 4 |

### ＝授業科目の目標＝

実技レッスンで習得した技術をいかし、さらに音楽表現を広げ発展させるため、アンサンブルの技術を研究する。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

遅刻・欠席をしないことを心掛けること。

### ＝授業内容＝

(春・秋)

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 調弦方法や楽譜の読み方（書き込みの仕方）などの習得。
- 3回 正しい音律とハーモニー（和音）の研究。
- 4回 ホリフォニーの分析。
- 5回 奏法（主に右手）の研究。ボーイングのつけ方など。
- 6回 古典曲の譜読み。
- 7回 前回譜読みした曲をほりさげる。
- 8回 前回の課題の復習。
- 9回 近代曲の譜読み。
- 10回 前回譜読みした曲をほりさげる。
- 11回 前回の課題の復習。
- 12回 現代曲の譜読み。
- 13回 前回譜読みした曲をほりさげる。
- 14回 前回の課題の復習。
- 15回 総合的に習得したことを復習する。

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

試験は行わない。日頃の予習態度（課題への取り組み方、事前にスコアを勉強するなど）や協調性などが評価される。さらに与えられた役割（首席・次席は的確な弓付けをするなど）を理解し、楽器演奏以外の音楽的な行動力も評価の対象とする。

### ＝テキスト（必携）＝

特になし